



# 春風通信

No.5 2月8日 久下自治振興会教育人権部

## 学んだことを生活に生かす

春風・人権学習の発表会で、6年生が発表した人権宣言の一部を紹介します。

### <6年生の人権宣言より>

- 私は、細田先生のお話の、「心のものさし」と「あるがままにまると共に認め合う」ことを学びました。人は、1番だから良かった。あの子より上だから良かった。など、「心のものさし」を使って、順位で人を判断していることがあります。それは、人も自分も大切にしていないことだと思います。生活している中で、結果として順位はあると思うけれど、順位ではなくて、精一杯したことが大事で、そのねうちはみんな同じだから、そこを認め合うことが大切だと思います。私は、これから、「心のものさし」で、順位をつけるのではなく、お互いがんばれたことを認め合って生活していきたいです。
- ぼくが伝えたいことは、区別と差別のちがいについてです。区別はぼくたちが本来持っているもののちがいで分けることです。差別は、性別や人種、病気、住んでいる土地などで差をつけて不当な扱いをすることです。自分では区別だと思ってしていることが、差別をしていることになっていないか考えることが必要だと思いました。正しいことを学んで知識をつけ、判断する力を高めて、差別をしない人になりたいです。そして差別をしている人を注意できる人になりたいです。
- 私は今まで、相手のことを大切にすることが一番大事だと思っていたけれど、まず、先にありのままの自分を認め大切にすることが大事だと知りました。相手を「心のものさし」で、はかって順位をつけて見ることは、相手を大切にしていないだけではなく、自分自身も大切にしないことにつながります。そして、お互いに「認め合う」ということの大切さも知りました。ふだんの生活の中で、自分や人が大切にされていないことがあれば、「おかしい」と言って、行動をしていきたいです。
- 私が伝えたいことは、その立場に立って考えることです。職業や住んでいる場所によって差別をされたりすることは、あってはならないことです。人間は平等です。差別をされた人の立場になって考えると、とてもつらいことだと分かります。私自身も、ふだんの生活の中で、人を傷つけているかもしれません。友だち同士でけんかをして悲しい思いをしている子がいるのが悲しいです。独りぼっちの人には、声をかけたり、けんかしている人には声をかけたりして、良い雰囲気に変えていきたいです。一人一人が大切にされるクラスを作りたいです。

